

*コロナウイルス感染症対策のため、今回の運営推進会議は開催せず、書面にてのご報告とさせていただきます。

1. 利用状況

I. (報告事項)

I. サービス利用状況 12月 8日現在 登録者数 24名（男性4名 女性20名）

介護度別利用状況

申請中	0名	要介護3	4名
要介護1	6名	要介護4	5名
要介護2	6名	要介護5	3名

年齢別利用状況 最高齢：男性95歳／女性98歳（他96歳1名、93歳2名）

	男性	女性		男性	女性
60代	1名	0名	90代	1名	4名
70代	0名	3名	100代	0名	0名
80代	2名	13名			

II. (報告事項)

管理者より

サービス利用状況報告等（サービス内容・ご利用者の様子）

●行事・地域との関わり・他取り組み等の報告をさせていただきます。

第一水曜日：ふれあいサロン

昨年6月から再開となりましたが、こころ庵はまだ参加を見合わせています。

行事・地域との関わり

☆ 10/10 こころ庵 秋の大運動会▶

今年は東京オリンピックが開催されスポーツの日が7月23日に変更となり毎年体育の日になんで行っていた運動会の開催が危ぶまれましたが日曜日がちょうど昔の体育の日という事で、今年もこころ庵 秋の大運動会が盛大に開催されました。まずは準備体操でケガのないように体をしっかりとほぐしました。紅白チームに分かれ、応援合戦・リレー・玉入れ・100メートル走・綱引きと内容も盛りだくさん。競技にリレーがあると聞いた時には、「えっ、私、走れんよ」と心配そうにしておられましたが、リレーも安全に楽しく参加できるようにしっかりと工夫されていました。接戦の末、優勝は白組でした。負けた紅組の皆さまには白組の方々がそれぞれ選ばれた動物のモノマネを披露して頂きました。いつもなら犬や猫、馬、牛…と簡単にモノマネできる動物ばかりなのですが今回は鹿やコアラといったマネするのが難しい動物が選ばれ皆で頭を悩ませながらもかわいらしいモノマネを披露して下さり秋の大運動会はケガもなく笑顔いっぱい幕を下ろしました。

☆ 10/17 こころにお花（ダリア）を咲かせましょう♪

コロナ禍で外出ができず季節の花に触れる機会が減った皆さまに旬の花に触れ季節の変化を感じ楽しんで頂こうと色々な種類のダリアの写真を準備しました。大きさや色、そして名前も様々で一つ一つの説明に熱心に耳を傾けておられました。一通り説明が終わりテーブルの上に並んだダリアの写真に手を伸ばしじっくり観察したり、「これは大きな花じゃね」、「色がかわいいね」と好みのダリアを見つけ会話を楽しまれておられました。“気に入った写真はどうぞ”とお声かけすると、「本当にもらってえん?」と嬉しそうに選び季節の花とのふれあいを喜んで頂けたようでした。

☆ 10/24 秋深き柿の木作りいとおかし

10月26日が柿の日という事であの有名な柿の俳句の人物のお話をしました。名前を聞いてもいまいちピンときていない様でしたが、“柿食えば…”と言うと、「あ〜知ってる」、「鐘が鳴るなり法隆寺!!」と元気よく応えて下さいました。俳句に出てくる柿を皆で折り紙で作ってみようと思本をまず見てもらおうと、「何じゃろうか?」、「りんご…いちご…みかん…」と誰一人として“柿”とは答へ下さらず…。気を取り直して、一つ一つ工程を説明しながらゆっくりと進めていき一人一つずつ立派なサイズの柿が出来上がりました。模造紙を広げクレヨンで法隆寺と柿の木を描き皆で作った柿を思い思いに場所に貼ってもらい完成しました。完成した作品を壁に飾ると、「まあ、ええのができたじゃん」、「あんな風にできるとは思わなかった」と出来上がりに大満足の様子でした。

☆ 10/31 青い鳥がもみじと秋を連れてきた♪

日中はとても暖かくポカポカ陽気で食後はどうしてもウトウトと眠たくなってしまいます。テレビからは紅葉を知らせる便りが聴かれるようになり、「行ってみたいねえ」、「今年も行けないかしら?」と話しておられます。こころ庵で紅葉を楽しんでもらおうと今日はもみじの壁飾り作り

をしました。まずはイメージがわく様にと出来上がりを見て頂いてから始めました。土台となる木の枠を組み立て色とりどりのもみじを思うままに貼って頂きました。全体のバランスを考え慎重に貼ったり直感で次々と貼ったりと貼り方にも個性が出ており、最後にかわいらしい鳥を貼り完成しました。お互いの作品を見比べながら、「来年こそは紅葉を見に行こうね」と話しておられました。

☆ 11 / 3 ベッチャーご一行 ころも庵をねり歩き♪

コロナ禍までは毎年恒例となっていた11月3日のベッチャー祭り。参加を断念せざるを得ない状況が続いております。祝日と言えどもお出かけも出来ない…そんな暗～い空気を察し今年は急遽ころも庵ベッチャーチームを招集しころも庵のホールをねり歩きました。“今日は特別なお客様がお見えになられていますよ～”とお声かけすると、「え～誰じゃろ？」とキョロキョロ。いざ登場すると大歓声が!!…起こると思っていたのですが“シーン…”、「あれ、何じゃろ？」と聴かれる始末に…。ホール内を、“ベタ”、“ソバ”、“ショーキ”一行がグルグルとねり歩くと皆さまとてもお上品に喜んで下さり記念撮影をしてお開きとなりました。

☆ 11 / 7 一足先に…年賀状を作ろう♪

巷ではおせち料理や年賀状発売と師走に向けて明るい話題がたくさん聴かれるようになりました。郵便局では11月1日より年賀状が発売され、「毎年書きよったんじゃけどね」、「たくさん出してたんよ」と会話を弾ませておられそれならば今日は皆で年賀状作りをしてみることにしました。来年の干支は？とお聴きすると、「え～っと…何じゃったっけ？」と首を傾げ、来年の干支が寅と知ると、「えっ私、寅年よ…ガオ～」とあるご利用者様がトラの鳴きマネをすると、「私は鶏だから食べられてしまうわぁ」と両手でバタバタと鶏が飛ぶ様子をマネて盛り上がりました。消しゴムで作った寅や松竹梅のハンコをお好きなように葉書に押して頂くのですがどのハンコが良いか、どの色が良いかと迷いながらも世界に1枚の素敵な年賀状が出来上がりました。外出が難しく季節の変化を感じにくくなっていますが毎週のレクを通して季節の流れを感じて頂けたのではないかと思います。

☆ 11 / 14 クリスマスリースを作ろう♪

花が好きなスタッフさんが自宅に飾った花をドライフラワーにたくさん持ってきて下さりそれを使って今週はクリスマスリース作りをしました。飾りつけしやすいように茎をカットしテーブルの上の箱に入れていくと、「これはなんて花かなあ？」、「これがかわいいね」と花に手を伸ばしじっくり観察したり鼻に近づけ“クンクン”と匂いを嗅いだりして楽しまれておられました。「私はこれがいい」とリースの土台にお好きなドライフラワーをどんどん貼りつけていき素敵なクリスマスリースが出来上がりました。あるご利用者様は、「リースを作りたかったのよ、ありがとう」と何度もお礼を伝え喜んでおられました。

☆ 11 / 21 勤労感謝の日に向けて…ご家族に感謝の気持ちを贈りましょう

勤労感謝の日が近付き、“23日は何の日でしょうか？”と聴いてみると、「え～何の日だっけ？明治節？新嘗祭？」と頭を悩ませていると、「勤労感謝の日じゃろ～」とあるご利用者様が答えて下さり皆で、「あ～勤労感謝の日ね」と納得。“ご家族に感謝の気持ちを伝えてみませんか？”と提案すると、「そうじゃね、その通りじゃね」と皆さまやる気に。かわいいイラストのカードや感謝の気持ちや労いのメッセージを前に、「どの言葉だと嬉しいかなあ？」、「このカードを贈りたいわ」とご家族様の事を想い一生懸命、選びバランスを考えながらのりで貼っていきしました。それだけでは少し淋しいので花や動物のシールでデコレーションし完成し、「いつ渡そうかしら？」、「喜んでくれるかしら？」と会話を弾ませておられました。

☆ 11 / 28 音楽レクリエーション

今日の午前中の塗り絵では冬野菜の塗り絵を選ばれた方が多くおられ本日のレクリエーションはまずは冬野菜についてお聴きしてみました。「白菜、ほうれん草、かぶ、れんこん…」と次々と答えて下さいました。中には、「トマト、水菜…」という答えが出て、「それって冬野菜だっけ？」と皆で首を傾げてしまいました。

音楽レクリエーションでは歌をうたいながらリズムに合わせて手を叩いたりつま先やかかとを上下させ体をしっかり動かして頂きました。“これは転倒予防になりますよ”と魔法の言葉を唱えると、「そりゃ、しっかりせんといけん」と張り切って取り組みました。

☆ 12 / 5 私の手作り☆年越しそば

12月に入り寒さが厳しくなり日に数回行う換気の時間が辛く、「まだ時間にならんのか？」と膝掛けに包まりながら耐えて下さっておられます。テレビや広告でおせち料理の宣伝をしていると、「あ～、おせち食べたい、お餅も食べたい」とニコニコしながら会話を弾ませ年の瀬の訪れをしみじみと感じながらお元気に過ごされています。“年越しと言えば何を思い浮かべますか？”とお聴きすると、「紅白…除夜の鐘…年越しそば」と次々と答えて下さり、“では、年越しそばには何を入れる？”とお聴きすると、「海老天…かまぼこ…あげ…お肉…里芋…」と色々な声が上がりました。年越しそばではあまり馴染みのない具材である里芋やお肉には、「そんなん入れるん？」、「うちのは入れんなあ」と各家庭の違いを楽しくお話されていました。

2.看取りケア

10月下旬に、90歳の女性ご利用者のお見送りをさせていただきました。

おしゃれが大好きで、元看護師という事もあり、ご自分の考えをしっかりと持たれ、90歳とは思えないほどの記憶力で、色々な事を私たちにも教えて下さいました。夏の終わり頃から少しずつ状態が悪くなり、食欲も低下され、ご本人ももう食べたくないと言われるようになりました。そのうち、水分も苦しそうに拒否をされるので、お茶スプレーにて口腔内をしめらせ、口腔内の乾燥対策をしていきました。

そういった状態の中でも、職員の声かけには反応して下さいましたので、声かけや音楽を流すなどして穏やかに過ごせるようケアを継続しました。

最期の時も職員がいつものようにお部屋に入り、「●●さんこんにちは」とお声かけすると、弱い呼吸になり、そのまま息を引き取られました。

激動の人生の方でしたが、最後は穏やかな環境の中、ご本人のペースにてお見送りさせていただくことが出来たのではないかと考えております。

3. 次回運営推進会議日程

＊尾道市より、運営推進会議の再開許可があり次第ご連絡、開催させていただきます。